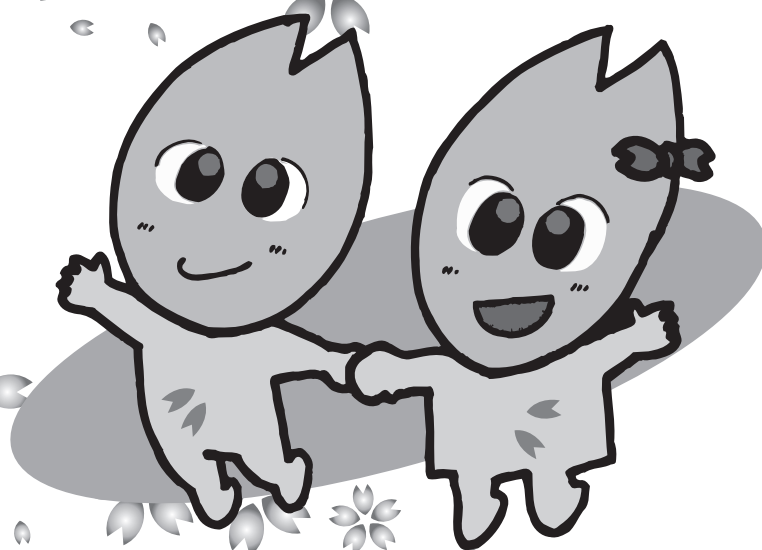




さくらサミット IN ひたち

桜と語るさくらの未来～元気さくらとネットワーク～

プログラム



期日

平成13年 4 月 7 日 (土)・8 日 (日)

会場

日立シビックセンター
かみね公園ほか

主催

茨城県日立市
第13回さくらサミットINひたち実行委員会



目 次

さくらサミット シンボルマーク・さくらサミット憲章	3
ごあいさつ	4
タイムスケジュール	6
講師プロフィール	8
参加自治体一覧 / 地図	9
さくらサミット加盟自治体紹介	10
北海道静内町	10
宮城県柴田町	10
秋田県角館町	11
福島県富岡町	11
埼玉県北本市	12
埼玉県幸手市	12
東京都北区	13
新潟県上越市	13
新潟県加治川村	14
長野県高遠町	14
岐阜県根尾村	15
愛知県三好町	15
奈良県古野町	16
鳥取県西伯町	16
島根県木次町	17
島根県美都町	17
高知県佐川町	18
長崎県大村市	18
熊本県水上村	19
宮崎県北郷町	19
茨城県日立市	20
資料 1. 日立市制施行 60 周年記念「なんでもさくら展」より 「私とさくらの思い出」発表文	21
資料 2. さくらまつり、さくらサミット関連イベント一覧	24



さくらサミットシンボルマーク さくらサミット憲章

さくらサミットシンボルマーク



さくらサミットのシンボルマークは、長野県高遠町で開催された第 2 回さくらサミットで採択されました。地球をあらわす円と桜の花びらで構成され、全体として人をイメージ化しています。人と人、まちとまちから始まるサミットの連帯・協力・調和が、グローバルな広がりを見せ、未永く継続していくことを表現するシンボルとして制作されたものです。

さくらサミット憲章（平成元年 9 月 22 日制定）

Success / 成功

第 1 条：

今後ともさくらサミットを開催し、サミットとサミットに参加するそれぞれの自治体のまちづくりを成功させるため互いに取り組みを進めます。

Approach / 接近

第 2 条：

共通の目標に向け、ふれあいと連帯を築き、それぞれの自治体の進展と住民の生活文化向上に努めることに合意します。

Keyword / 言葉

第 3 条：

まちづくりの共通標榜である「桜」をキーワードとして「桜」に関する人や物の交流、情報の交換を行い、新しいまちづくりの手がかりを見出します。

Unity / 調和

第 4 条：

文化、教育、福祉、産業、観光そして災害対策などにおいて、相互の連携、協力をとり、調和のとれたまちづくりを行うよう心がけます。

Relation / 縁

第 5 条：

「桜」によって結ばれた縁を大切に、互いに友好を深め、21 世紀に向かって前進していきます。

Agreement / 合意

第 6 条：

共通の目標に向け、ふれあいと連帯を築き、それぞれの自治体の進展と住民の生活文化向上に努めることに合意します。



ごあいさつ



日立市長 櫻村千秋

全国各地から日立市へようこそお越しくださいました。心より歓迎いたします。

日立市は、太平洋と阿武隈山地に囲まれた自然豊かなまちであります。また日鉱金属や日立製作所を中心とする関連企業が市街地に広がる工業の町です。

2001 年は、「21 世紀幕開けの年」であり、また、毎年開催している日立さくらまつりも第 40 回となり、まさに節目の年であります。この記念すべき年に「第 13 回さくらサミット IN ひたち」が開催されることは誠に意義深いものがあり、御参加いただいた皆さま方をはじめ、関係各位に厚くお礼申し上げる次第であります。

さて、日立のさくらは、約 100 年前に起きた日立鉱山の煙害、すなわち銅の精錬過程で発生する亜硫酸ガスにより、山々の緑が壊滅的な被害を受けたところに原点があります。鉱山は、煙害対策として世界一（当時）の大煙突を建てる一方で、山々に大規模な植林を行いました。ここで、伊豆大島に自生する大島桜おおしまざくらが火山ガスに強いことに着目し、大島桜を大量に植林しました。

その後、大島桜の栽培技術を応用して染井吉野そめいよしのの苗木を生産し、鉱山や日立製作所の工場・社宅などに植えたこと、また、戦災で焦土と化した市街地の復興に際して、平和通りやかみね公園に染井吉野などの数多くの桜を植えたことにより、今日の日立のさくらがあります。現在、市街地だけでも約 1 万 4 千本の桜が確認されています。

このような「さくらのまち日立」ではありますが、染井吉野の樹勢の衰えとテングス病の防止という大きな課題を抱えております。これまで先人たちが植え育ててきた染井吉野は、古いもので樹齢約 60～80 年を数えており、年々樹勢が衰えてきております。加えて、テングス病の蔓延まんえんは、見るに忍びないものがございます。

今回のサミットのテーマは「桜と語るさくらの未来～元気さくらとネットワーク～」とさせていただきます。サミットの中では皆さま方と共に、桜に代って桜の現状と課題を語り、元気なさくらを未来の子孫に遺していくことをテーマに、意見の交換を深めながらネットワークの輪を広げていきたいと考えております。

また本日は、かつて日立市にお住まいになり、国土審議会の会長をお務めになった下河辺 淳 先生を講師にお招きして、「日本文化とさくら」をテーマに基調講演をお願いいたします。

最後になりますが、第 13 回さくらサミットを本市において開催させていただくに当たり参加自治体の皆さまはもとより、コーディネーターの篠田伸夫先生をはじめ、関係各位の御協力をいただきましたことを心から感謝申し上げますとともに、本日御参加いただきました皆さまの御健勝と御多幸を祈念いたしまして、ごあいさついたします。



ごあいさつ



第 13 回さくらサミット IN ひたち実行委員会委員長 古田土 勇

このたびは、全国各地のさくらのまちから、日立市へおいでくださいましてありがとうございます。また、これまでのサミット開催地の方々におかれましては、私たちの訪問を温かくお迎えくださりありがとうございました。重ねてお礼申し上げます。

さて、日立市は「さくら」に関する市民運動の取り組みが盛んなところであります。明治・大正期の煙害克服、昭和初期の工場・社宅の拡大、その後の戦災による廃墟からの復興と、まちの歴史上の大きな節目には、必ずといって良いほどさくらが多く植えられてきました。これらのさくらを植え育ててきたのは名もない普通の市民たちでした。そしてその末裔たちが、今日わたしたちの目を楽しませてくれています。

このような背景の下、「住民主体の緑のまちづくり」を目指して私ども「^{かじゆ}花樹の会」が平成 5 年に結成され、他のさくら関連市民団体とともに、さくらのまちづくりを推進してまいりました。そして、私ども花樹の会会員にとりましては、日立市でのサミット開催は長い間の念願でした。日立市が「さくらサミット」に加盟したのは、第 8 回北海道静内町からでしたが、第 9 回の新潟県上越市、第 10 回東京都北区、第 11 回宮崎県北郷町、そして昨年の第 12 回埼玉県幸手市と、毎年のように応援団として参加してまいりました。この間、全国のさくらのまちづくりに熱意を燃やす仲間たちと交流して、多くの示唆や教訓を得てまいりました。

これらの経験から、「日立市でもさくらサミットの開催を」と市に強く要請してきたところでありましたが、幸いにも当局の御理解を得て新世紀スタートに当たる本年の開催が決まり、たいへんな喜びを感じたところであります。

各自治体の首長さん方が会議を行う「サミット」は、本来であれば行政サイドで進めるべきものではありませんが、日立市では独自の取り組みとして、「実行委員会」を組織して準備を進めてまいりました。これは、行政の担当者と市民団体の代表者が半々ずつという構成で、プログラム企画、テーマの検討から具体的な準備作業まで、互いに率直な意見を出し合いながら、「市民と行政の協働」で進めてきたものです。

サミット開催を機に、私たちはこれから、さくらのまちづくり市民運動の拡大・発展を図ってまいりたいと考えております。本日お集まりの皆さま方にも、「日立のさくら」を心ゆくまでお楽しみいただき、さくらに対する御理解、御協力をいただくとともに、我々の先輩方が植え育ててきたさくらを子や孫の世代、ひいては 22 世紀まで遺していけるような環境を私たちの手で創ってまいりたいと考えます。



タイムスケジュール

● 4月7日(土) ●

(敬称は略させていただきました)

13:00 開会

主催者あいさつ	日立市長 第13回さくらサミット IN ひたち実行委員長	榎村千秋 古田土勇
来賓代表あいさつ	茨城県知事	橋本 昌
来賓紹介	衆議院議員 茨城県議会議員	大畠章宏 井手義弘 菊池敏行 長谷川修平 今 一男 土屋桃子 田中俊行
	(財)日本さくらの会理事 (財)日本花の会結城農場長	

13:10 第5回さくらサミット大賞押し花絵コンクール表彰式

日立市長賞・関東郵政局長賞・日立市議会議長賞・日立郵便局長賞
(財)日本手芸普及協会賞・ふしぎな花倶楽部賞

13:15 市制施行60周年記念 なんでもさくら展「私とさくらの思い出」作文発表

(小学生)	滑川小学校5年	荻田千尋さん
	助川小学校6年	直井雄一郎さん
(一般)	久慈町	石津真紀さん
	田尻町	安藤孝吉さん

13:30 基調講演

講師：下河辺 淳 / 国土審議会元会長
テーマ：「日本文化とさくら」

14:25 サミット会議

参加自治体：18団体
コーディネーター：篠田伸夫 / 全国町村議会議長会事務総長
テーマ：桜と語るさくらの未来～元気さくらとネットワーク～

16:20 共同宣言採択

16:25 次期開催地発表

第14回さくらサミット開催地の発表
次期開催自治体の決意表明

16:30 閉会

17:00 交流会

開会	主催者歓迎のあいさつ	日立市議会議長	滑川信光
	乾杯	日立商工会議所会頭	宮崎哲雄
	来賓あいさつ	タウランガ市長	ノエル・ポウブ(姉妹都市)
	来賓紹介	群馬県桐生市長	大澤善隆(姉妹都市)
		福島県原町市長	鈴木寛林
	新規加盟自治体あいさつ	群馬県宮城村長	櫻井敏道
	「日本のさくら名所100選+別選50vs日立のさくら」写真展の作品寄贈		
	津軽三味線演奏	日立第一高校2年	奥村祐介
	平成12年津軽三味線全国大会(青森県弘前市)で一般A級部門 (16歳以上)最年少入賞。		
	会場装飾(押し花)	藤田三枝	
		(生け花)	丹野敏子

18:45 閉会 日立市助役 高畠 俊

19:00 さくらまつり見学(平和通り夜ざくら見学、花見茶屋)

19:30 日立風流物(国指定重要有形・無形民俗文化財)の見学

20:00 現地解散



● 4月8日(日)

- ☞ 8:45 「産業遺産とさくら巡り」見学会出発(8:40 集合 ホテルサンガーデン前)
- ☞ 9:00 平和通り 日立駅前→国道6号
- ☞ 9:05 大雄院通り 国道6号→共楽館(車内解説)→大雄院
- ☞ 9:10 日鉱金属(株)日立工場大雄院事務所(車内より見学)
大煙突・阿呆煙突などの煙突群、山々の大島桜、山桜の状況
(株)日立製作所創業小屋の跡地
- ☞ 9:25 日鉱記念館
館内の見学～日立の産業と桜のルーツを探る～
鉱山の煙害による被害
大煙突の建設と大島桜の植栽
山の桜から町中の桜へ
- ☞ 10:35 熊野神社
(株)日立製作所山手工場正門より入場、熊野神社の桜見学
- ☞ 11:15 記念植樹 会場:かみね公園東側斜面プラネタリウム跡地広場
- ☞ 11:30 野点 茶道裏千家 なごやか会 末松倫枝さん
和菓子実演 いがわ 鈴木さん
琴の演奏 森村親由樹さん
- ☞ 12:00 市長あいさつ
- ☞ 12:05 昼食
- ☞ 12:40～13:40 かみね公園発
- ☞ 13:00～14:00 日立駅にて解散

記念植樹団体・樹種一覧

1 サミット加盟自治体

- | | |
|-------------|-----------------------|
| (1) 北海道静内町 | えぞ
蝦夷山桜 |
| (2) 宮城県柴田町 | 彼岸桜 |
| (3) 秋田県角館町 | べにしだれざくら
紅枝垂桜 |
| (4) 福島県富岡町 | 染井吉野 |
| (5) 埼玉県北本市 | いしとがばざくら
石戸蒲桜(後継樹) |
| (6) 埼玉県幸手市 | 染井吉野 |
| (7) 東京都北区 | 江戸彼岸 |
| (8) 新潟県上越市 | 染井吉野 |
| (9) 新潟県加治川村 | かんひざくら
寒緋桜 |
| (10) 長野県高遠町 | 高遠小彼岸桜 |
| (11) 愛知県三好町 | 染井吉野 |
| (12) 岐阜県根尾村 | うすずみざくら
淡墨桜 |
| (13) 奈良県吉野町 | しろやまざくら
白山桜 |
| (14) 島根県木次町 | きすきささべざくら
木次笹部桜 |
| (15) 長崎県大村市 | 大村桜 |
| (16) 熊本県水上村 | かんざん
関山 |
| (17) 宮城県北郷町 | 染井吉野 |
| (18) 茨城県日立市 | 大島桜 |

2 日本四大桜

- | | |
|-----------|----------------|
| (1)山形県長井市 | 伊佐沢の久保桜 |
| (2)福島県三春町 | 三春の滝桜 |
| (3)山梨県武川村 | 山高の神代桜 |
| (4)岐阜県根尾村 | 根尾の淡墨桜
(前出) |

3 姉妹都市

- | | |
|----------|--------|
| ニュージーランド | タウランガ市 |
| | 染井吉野 |

4 地元の小中学校

- | | |
|-----------|------|
| (1)中小路小学校 | 染井吉野 |
| (2)宮田小学校 | 染井吉野 |
| (3)仲町小学校 | 染井吉野 |
| (4)駒王中学校 | 染井吉野 |

5 森林愛護隊

- | | |
|-------------|-----|
| (1)日立南森林愛護隊 | 大島桜 |
| (2)日立北森林愛護隊 | 大島桜 |



講師プロフィール

下河辺 淳（しもこうべ・あつし）

元国土審議会会長。1923 年東京都生まれ。1947 年東京大学第一工学部建築学科卒業。工学博士。1947 年より戦災復興院技術研究所勤務。以後、経済審議庁計画部、建設省計画局を経て、経済企画庁総合開発局調査官、同庁総合開発局参事官、同庁総合研究開発調査室長、同庁総合開発局長、国土庁計画・調整局長を歴任、1977 年より国土事務次官。1979 年から 81 年まで国土庁顧問を務めたあと、総合研究開発機構理事長、特別顧問に就任、1992 年より東京海上研究所理事長。その他に、日中経済知識交流会顧問、日英 2000 年委員会委員、日米欧委員会日本委員会委員、社団法人日本プロサッカーリーグ（J リーグ）裁定委員会委員も務める。



篠田 伸夫（しのだ・のぶお）



全国町村議会議長会事務総長・前自治省消防庁次長。1943 年鳥取県生まれ。1967 年京都大学法学部卒業後、自治省入省。青森県地方課長、出雲市助役、消防庁救急救助室長を経て、87 年より岐阜県総務部長兼博覧会推進局長として「ぎふ中部未来博覧会」を成功に導く。89 年自治省振興課長、90 年東京都総合計画部長、行政部長、93 年岐阜

県副知事を経て、97 年 1 月より消防庁次長を務める。98 年 7 月より（財）救急振興財団副理事長、2000 年 4 月より現職。



参加自治体一覧

- | | | | |
|---|---------|----|--------|
| 1 | 北海道静内町 | 10 | 長野県高遠町 |
| 2 | 宮城県柴田町 | 11 | 愛知県三好町 |
| 3 | 秋田県角館町 | 12 | 岐阜県根尾村 |
| 4 | 福島県富岡町 | 13 | 奈良県吉野町 |
| 5 | 埼玉県北本市 | 14 | 島根県木次町 |
| 6 | 埼玉県幸手市 | 15 | 長崎県大村市 |
| 7 | 東京都北区 | 16 | 熊本県水上村 |
| 8 | 新潟県上越市 | 17 | 宮崎県北郷町 |
| 9 | 新潟県加治川村 | 18 | 茨城県日立市 |





さくらサミット加盟自治体紹介

北海道静内町

市区町村の概要

雄大な日高山脈と太平洋に囲まれた競走馬のふるさと日高地方の中核都市。農林漁業の他、各種の産業が発達した人口 23,200 人、10,000 世帯の緑豊かな町。

さくらの概要

直線 7km “日本一の桜並木” として知られる二十間道路桜並木。道路幅が二十間(36m)あることから二十間道路と呼ばれ親しまれるようになったこの道の誕生は明治 36 年のこと。当地を訪れる皇族等を迎えるために、幅二十間・長さ 2 里(8km)という雄大な行啓道路が造成され、桜の植栽は大正 5 年から 7 年にかけて 3 年の歳月を費やして当時の御料牧場職員が近隣の山々から移植し行われた。風雪に耐え、幾多の存亡の危機を乗り越え咲き続ける桜は、ほとんどがエゾヤマザクラである。

この桜並木は、樹齢 80 から 90 年と推定される老木樹であり、腐食や病気等により樹勢の衰えが随所に見受けられ早急な対策を検討していたが、平成 11 年度より、二十間道路桜並木の約半分を占める農林水産省用地において、本格的な樹木の調査治療が開始された。これは 3 ヶ年で総事業費約 2,500 万円を費やし、樹木の調査治療などを徹底的に実施しようとするもので、同時に懸案事項であった桜杜等専門員による桜の調査・研究・維持管理へ向けての大きな前進となるものである。

また、町民有志の熱意により、観光を主としたまちづくりに民間サイドから支援する団体が組織され、平成 11 年 12 月には、静内町の貴重な財産である「二十間道路桜並木」を含めたエゾヤマザクラをはじめとする観光資源の保護、育成を主とした観光振興事業に要する経費の財源とするための、「観光振興のための基金に関する条例（静内町さくら基金）」が制定された。



宮城県柴田町

市区町村の概要

東北唯一の政令指定都市仙台市から南へ 25km、町中央部を白石川が流れる人口 38,000 人、世帯数 12,000 の県内最大規模の町。温暖な気候で稲作をはじめ花や果樹栽培等が盛んな一方、東北の町村で第 4 位の製造品出荷額を誇る工業の町でもある。

さくらの概要

毎年 4 月 10 日から 25 日までの期間で、さくらまつりが開催されている船岡城址公園は町南西部に位置する独立型山状の四保山にあり、樹齢 96 年のソメイヨシノなど、1,000 本余りが咲き乱れる。歴史をたどってみれば戦国時代に船岡城が築城され、後に原田家が治めているのは、山本周五郎作「樅の木は残った」でご承知のとおりである。

また白石川堤の桜は、「一目千本桜」の愛称で親しまれ、柴田町から大河原町に至る総延長 8km に約 1,000 本のソメイヨシノが植えられ、開花時には並行して走っている JR 東北本線の列車も徐行運転を行っている。この桜は、大正 12 年 4 月白石川堤防改修工事完成記念として植樹され、残雪をいただく霊峰蔵王を背景にした景観は県内屈指の桜の名所として観桜客の目を楽しませている。

樹齢が 79 年を超す老木が多いため、樹木樹勢の診断を行いながら、施肥や剪定等による樹勢保持に努めるとともに、「桜つつみ事業」の実施による堤防上の桜の植樹や多品種の桜が観察できる遊歩道を整備しながら次世代への継承を行っている。

平成 12 年度からは、白石川や船岡城址公園はもちろんのこと、町全域に点在している桜の木 1 本 1 本が、すべからく“町の宝物”と位置付け、柴田町がこれからも「柴田らしい桜の町」であり続けるための「柴田さくら百年計画」を策定している。





秋田県角館町

市区町村の概要

秋田県のほぼ中央部東端に位置し、面積 156km²、人口約 15,000 人、4,900 世帯、清流玉川と桧木内川の合流域に沿って南に開けた盆地の城下町。藩政時代から仙北郡北部の政治、経済、文化の中心として役割を担ってきた。元和 6 年の町並みが現存し、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。稲作が主要産業だが、伝統産業樺細工でも知られている。

さくらの概要

毎年春、武家屋敷とシダレザクラ、清流とソメイヨシノの並木と 2 箇所の国指定のサクラが独特の景観を見せている。みちのくの小京都と呼ばれ、武家屋敷が現存し各屋敷内に約 400 本のシダレザクラが植栽されている。このシダレザクラ群は藩政時代京都から苗木が運ばれ、その後家臣が各邸宅に種を植え殖やされたものと言われている。昭和 49 年に 153 本が国の天然記念物に指定された。

一方、まちの中央部を流れる桧木内川堤に 2km の桜並木がある。昭和 7 年救農土木事業で桧木内川左岸堤防の築堤及び護岸工事を行った。翌 8 年に完成、この年天皇陛下の誕生の慶事があり、翌 9 年の春に記念植樹を行った。その後、幾多の混乱を乗り越えサクラは見事に生長し並木を形成した。昭和 50 年国の名勝に指定された。シダレザクラは推定樹齢が 100 年～300 年でまだ寿命とは言い難いが、武家屋敷住民の生活環境の改善、観光客の増加などで生育環境が大きく変化してきている。

このため、平成 11 年度から緊急調査事業を実施、指定全数について詳細調査を行い調査データと共に保全上の問題点と課題を抽出し調査報告書を作成する予定。ソメイヨシノの並木は平成 10 年度～11 年度にかけ保存管理計画を策定、平成 12 年度からは継続事業で保存管理計画に基づき樹勢回復のための土壌改良、根系誘導工などの保存改良事業を実施中。この事業は一般的に 60 年と言われているソメイヨシノの寿命を植え替えなしで克服出来るか、ソメイヨシノの老木を有する全国から注目されている。



福島県富岡町

市区町村の概要

福島県浜通り地方の中央に位置し北は大熊町、西は川内村、南は楡葉町とそれぞれ境を接し、阿武隈山地と太平洋との間に広がる東西 12.7km、南北 9km とやや短形の面積 68.47km²、人口約 16,000 人の町。

さくらの概要

昭和 40 年代初頭からの電源開発により、地域社会経済が目覚しく発展してきたが、大規模プロジェクトが峠を越えた現在、「ポスト原発」を合言葉に電源立地町として特色ある町づくりを目指し、地域振興を推進している。

本町の桜はほとんどが「ソメイヨシノ」であり、町内に約 2,000 本植えられている。その歴史は、明治 33 年に農村開発のモデルとして当地に入植した半谷清寿氏が農場や宅地の周りを半谷農場として開拓し、約 300 本のヨシノザクラをはじめ種々の樹木を植えたのがはじまりである。次男の六郎（のちに町長）は、父の意志を継いでこの地をサクラの名所にしようと、明治 44 年に約 1.5km の道の両側に約 300 本のサクラを植えその後もサクラを増やし続けた。一時期公園敷地の一部が「日本サクラの会」の所有となったが、昭和 55 年それを町が買受け、夜の森公園として都市計画決定を受け都市公園として位置づけた。更に昭和 56 年「緑の文化財」、昭和 60 年「ふくしま緑の百景」の指定を受け、現在に至っている。





埼玉県北本市

市区町村の概要

埼玉県のほぼ中央に位置し、東京から 40～45km 圏にあり、面積 19.84km² の首都圏の住宅都市として発展してきた。

市内に平地林が多く点在していることから将来都市像を「緑にかこまれた健康な文化都市」と掲げ、桜や四季の花々が咲き誇る豊かな自然と都市が共生したまちづくりに向け、現在様々な施策を展開している。

桜は、昭和 52 年度に市の木として指定された。平成 9 年度に市のイメージを高めるため、市民と行政が一体となって魅力あるまちづくりを推進するための指針として、「北本市イメージアップ推進計画」を策定し、「感動桜国きたもと」をキャッチフレーズとし、「感動桜国」を「観せる」、「伝える」、「創る」という 3 つの展開方針に沿って、事業を推進している。



さくらの概要

北本市の桜には、日本五大桜（福島県三春の滝桜、山梨県山高の神代桜、静岡県狩宿のゲバ桜、岐阜県根尾谷の淡墨桜）の一つで、大正 11 年に国の天然記念物に指定された樹齢約 800 年の「石戸蒲ザクラ」、市の天然記念物として指定され、樹齢約 200 年の「高尾エドヒガンザクラ」、ソメイヨシノの「石戸城ヶ谷堤」など桜の名所が数多くあり市民に親しまれている。平成 7 年には石戸蒲ザクラの後継樹や北本市に転入された方々の故郷から送られた 11 種 182 本の様々な種類の桜を植栽した「高尾さくら公園」を開設し、毎年市内外から多くの人々が訪れている。

また、市内の雑木林には、大宮台地における全ての自生種、ヤマザクラ、エドヒガンザクラ、シダレザクラ、ウワミズザクラ、イヌザクラが今なお健在に自生しており、街路樹として八重桜や企業内の緑地にソメイヨシノなど多くの桜が植栽されている。

埼玉県幸手市

市区町村の概要

関東平野のほぼ中央、埼玉県の北東部に位置し、北は茨城県、西は千葉県に接している。平成 8 年度に市制施行 10 周年を迎えた人口約 57,000 人、19,000 世帯のまち。

さくらの概要

市内北部の権現堂堤が桜の名所として知られている。堤は約 400 年前に築かれ、江戸期を通して江戸を水害より守った。大正 9 年に約 4 里にわたり桜が植栽されたが、戦中から戦後にかけて伐採されてしまう。その後、昭和 24 年に地元住民等により桜の植栽が進められ、現在約 1km にわたり約 1000 本の桜が続き、例年大勢の花見客で賑わっている。

権現堂堤の桜は、トンネル状に満開になった桜と、周辺に植えられた菜の花とのコントラストが見どころである。





東京都北区

市区町村の概要

東京の北の玄関口に位置し、平成 10 年「第 10 回さくらサミット in 北区」が開催され、全国に桜文化が発信された人口約 32 万人のまち。桜の名所地「飛鳥山公園」に同年全国初の公・民営の 3 つの博物館が同時に開館したほか、東京初の防災センターや、旧古河庭園、桜の名所の岩淵水門などを有する。

さくらの概要

東京の桜の名所の一つである飛鳥山公園の桜は、徳川八代将軍吉宗の時代に植栽され絶好の行楽地として桜の名所地となり、現在も多くの花見客が訪れる。戦後数度の大規模改修が行われたが、現在では飛鳥舞台や井桁噴水など桜と水と自然石の調和による趣豊かな歴史公園として評価されている。現在、荒川赤羽緑地の堤防に桜を植栽し、桜のプロムナードとして整備するほか、平成 10 年知水資料館も開設され、桜をシンボルにしたまちづくりが展開されている。



新潟県上越市

市区町村の概要

上越市は、奈良時代以来、越後国の政治・経済・文化の中心として栄え、いたるところに歴史遺産が残されている。とりわけ春日山城跡・福島城跡・高田城跡が知られている。

現在、人口 134,851 人、45,692 世帯であり、港湾整備、火力発電所の建設、上信越自動車道、北陸新幹線など数多くの大型プロジェクトが進行し、対岸諸国と三大都市圏のゲートウェイとして発展している。

さくらの概要

ソメイヨシノを中心に約 4,000 本の桜が植えられている高田公園では、毎年見頃となる時期にあわせて観桜会が開催される。ぼんぼりの明かりに照らし出され、お堀の水面に映る様は大変美しく、日本でも有数のものとして知られている。

歴史を溯るとこの桜は、陸軍第 13 師団の入城を祝い、在郷軍人団の呼び掛けにより集まった寄付をもとに、明治 42 年 3 月に 2,200 本の桜を植樹したのが始まりである。

昭和 50 年には、園内に桜見本園として変化に富んだ品種を植樹し、現在 10 数種の桜が訪れた人々の目を楽しませている。昭和 55 年、市の木として「桜」を制定した。

平成 8 年度から、公園一帯を一万本の桜で埋め尽くし、上越市を桜の都とする「一万本の桜が咲き誇るまちづくり」計画に取り組み、平成 12 年度、10,000 本を達成した。





新潟県加治川村

市区町村の概要

北緯 38 度線が通る村「加治川村」は、日本有数の穀倉地帯である蒲原平野の北部に位置する人口 7,566 人、1,846 世帯の純農村である。豊かな自然に恵まれ、良質なコシヒカリを産出する「桜とコシヒカリの里」。

さくらの概要

- 国天然記念物「^{とちだいり} 椽平 桜樹林」

日本一小さい山脈である櫛形山脈の中央にある大峰山(399.5m)付近の山腹に桜の原始樹林帯があり、約 40 種、1,000 本以上の桜があるといわれている。

この桜は人工的に移植したものではなく、何万年も前に自生したものが長い年月の自然交配により多数の変種の山桜になったものである。昭和 9 年には約 117ha の桜樹林が国の天然記念物に指定されている。開花期は 4 月下旬から 5 月上旬。

大正天皇の即位等を記念して、大正 3 年に加治川堤 28km に桜 6,000 本を植栽した「長堤十里の桜並木」は日本一ともいわれ、花見客用の臨時停車駅もできるほどだったが、昭和 41 年、42 年の連続大水害による河川改修のためにすべて失われてしまった。しかし、現在では建設省の「桜堤モデル事業」に認定され、周辺 4 市町村で「桜の里親制度」等により復元されている。

平成 9 年に、大峰山のふもと 5.2ha に桜公園を開園。世界の桜 109 種類を植栽し、四季を通じて観桜できる公園をめざしている。



長野県高遠町

市区町村の概要

長野県南部の人口 7,400 人、2,400 世帯の山裾の城下町。特産品は歴史のある高遠饅頭、高遠焼、木材の彫刻製品が主なものである。

さくらの概要

高遠は鎌倉時代の高遠氏に始まり江戸時代の内藤氏まで城が形成され、南信濃の中心地として栄えてきた。戦国時代には武田信玄が本格的な城塞を築き、江戸時代は会津藩始祖の保科氏を始めとした高遠藩 3 万 3 千石が置かれ、城下町が発達した。廃藩置県により高遠城は取り壊され、あたりは一時荒廃したが、明治 8 年有志が近くにあった桜の植樹をして高遠城址公園としての整備が始まり現在に至っている。この桜はタカトオコヒガンザクラというコヒガンザクラの仲間としては大木となり花も赤みが強い特種な桜で、樹林は県の天然記念物に指定されている。





岐阜県根尾村

市区町村の概要

国指定天然記念物の淡墨桜をむらづくりのキーワードとして、桜の植樹運動を進めている。清流・根尾川が中央を流れ、四方を美しい緑の山々に囲まれた人口約 2,400 人、810 世帯の自然豊かな山村。

さくらの概要

樹齢 1,500 余年の淡墨桜は、第 26 代継体天皇のお手植えの桜と伝えられ、樹高約 16m、幹回り 10 m、枝張りは東西 27m、南北 20m と桜では日本一の巨樹と言われ、日本さくら名所 100 選にも選ばれた。国指定の天然記念物、蕾のときは薄いピンク、満開に至っては白色、散りぎわには特異の淡い墨色をおびてくる。過去、幾度も雪害や風害により枯死の危機に陥ったが、山桜の根継ぎによる回生手術や作家宇野千代女史ら各界の保護活動によって、現在も盛観を保ち、昭和 55 年度から 10 年間で淡墨公園として整備され、毎年 4 月上旬には全国から 20 万人もの観光客が訪れる。淡墨桜を愛する人は、国際化の流れの中で、国内にとどまらず世界にも広がっている。平成 11 年 11 月アメリカ合衆国ボトマック公園に淡墨桜の苗木が植樹された。



愛知県三好町

市区町村の概要

愛知県のほぼ中央、名古屋市と豊田市の間に位置する都市近郊の自然に恵まれた町。

三好町は、柿・梨・ぶどう等を特産物とする農業と自動車関連企業等の工業、魅力ある商業施設の立地など、各産業がバランス良く調和して発展してきた。

さくらの概要

毎年 3 月下旬から 4 月下旬に三好桜まつりが開催される三好公園では、三好池を囲むように植えられた 2000 本の桜が一斉に咲き、散歩や花見客の目を楽しませている。

また、同公園で桜の開花時期に併せて、桜マラソンや国際レディースカヌー大会を開催するなど、三好町の春は桜とともに始まるといって過言でない。

また、保田ヶ池公園でも、お花見広場や 1 周約 1 キロの散策コースでゆっくり花見ができる。どちらの公園も桜の季節は夜間ライトアップされ、夜桜が満喫できる。

三好町では、国の花であるさくらを愛する心を広く町民に呼びかけ、さくらを通して豊かな自然と環境を守り、健全な生活環境の保全と推進を図るために、「三好町さくらの会」を設立し、新たなさくらの名所「三好町さくらの園」づくりを進めている。

さくらの園は、地域の人々の手により整備が進められている。ここでは、「さくらの核」、「さくらの軸」、「点在するさくら」など、新旧の様々な桜のあるふさとの風景づくりを計画している。





奈良県吉野町

市区町村の概要

奈良県のほぼ中央に位置し、人口 12,030 人、3,800 世帯、市街地に接して約 30km² にも及ぶ国立公園がある。また、町のいたる所に名所、旧跡、文化財が散在し、緑豊かな自然観光地として広く知られている。

さくらの概要

吉野山は古来から桜の名勝地として知られているが、今から 1300 年前、山岳宗教『修験道』の本尊、蔵王権現の御神木となり、役行者の神秘的な伝承と修験道が盛行するにつれ蔵王権現を祀る金峯山寺への参詣も盛んになり、御神木の『献木』となって植え続けられてきた。

全山で約 3 万本の桜が植栽されており、そのほとんどが桜の原点であるシロヤマザクラである。4 月上旬には麓の下千本から開花し、中・上・奥千本とおよそ 1 ヶ月かけて山を咲き昇っていく景色は見ごたえがある。

しかし、元々桜が育つには適地といえないのが吉野山である。平成 4 年頃から花の量や艶も少なく、目に見えて衰退してきた。その原因として、寿命や病害虫の発生、環境の変化が考えられた。その後、県を中心に『桜活性化検討委員会』が設けられ、提言に基づき様々な作業が実行され、また継続してきたことにより、樹勢回復の効果が少しずつ見えてきている。今後もその効果を維持していくために、関係機関と連携を密にし、絶えず桜樹林の管理を行っていく必要がある。



鳥取県西伯町

市区町村の概要

中国地方、山陰にある西伯町は鳥取県西部の島根県境に位置し、米と和牛、薪炭生産の町として知られている。農業構造改善事業や住宅団地造成、企業誘致等々により兼業化が進んでいるが、一方でダム湖を拠点とした観光開発にも着手している。人口 8,247 人、2,460 世帯の町。

さくらの概要

江戸時代、出雲街道の宿場町として発達した西伯町では、法勝寺城山公園（法勝寺城跡）で例年 4 月上旬～中旬を花まつり期間とし、この期間は町内外の住民の憩いの場になっている。期間中は公園一帯が桜の花に包まれるため、ぼんぼりが設置され、川面に映る夜桜見学も行われている。また、4 月中旬には、全国でも数少ない郷土伝統文化財「一式飾り」や、「上長田神社春季大祭」が行われ、中央公民館主催の地区住民の公民館まつりと共に桜のこの時期は一年で最もにぎわうときを迎える。

法勝寺城山公園及び法勝寺川堤防	1,000 本
妙見山公園	300 本
緑水湖周辺	1,000 本





島根県木次町

市区町村の概要

島根県出雲部の中央に位置し、古くから当地方の中心として栄え、現在は木次拠点工業団地を中心に企業誘致が進んでいる。また「健康の町」を宣言し「心、体、社会」の健康づくりを進めている。人口 10,230 人、3,025 世帯の町。

さくらの概要

平成 2 年 3 月、「日本さくらの会」より、日本さくら名所 100 選に認定された「斐伊川堤防桜並木」は、斐伊川の清流に沿って約 2km にわたり、花の見頃には桜のトンネルとなり、中国地方随一の桜の名所としてその名を馳せている。

この斐伊川堤防の桜は、明治の終わり頃から町民の手によって植えはじめられ、本格的には昭和のはじめに堤防の両側に植えられた。当時の小学生が中心となり、自分が育てる桜を決めて管理が行われ、以来町のシンボルとなっている。

現在、斐伊川堤防など町の中心部には約 1,500 本の桜があり、昨年町内 5 万本の桜の植栽を達成した。きすき桜まつりの期間中(3 月 24 日～4 月 22 日)には、ぼんぼりやライトアップの点灯により夜桜を楽しむことができ、4 月 7 日(土)・8 日(日)をメインとして数千発の打ち上げ花火等各種イベントを用意してある。

また、堤防の小段は芝生で整備され、清流のせせらぎを聞きながらのお花見ができ、駐車場も河川敷が利用できる。



島根県美都町

市区町村の概要

県西部に位置し、中国山脈の嶺線に近い傾斜の中間地帯にある、四面を山々に囲まれた人口 2,690 人の町。また、高齢化率は 34%で過疎・高齢化が全国的にみても顕著な地域となっている。町の産業は、山陰 1 位の生産を誇る柚子やメロン・イチゴ・ハウレン草などの施設園芸が盛んで広島・関西方面にも出荷されている。また、平成 3 年にオープンした美都温泉には年間 15 万人の入浴者で賑わっている。

さくらの概要

美都町は「桜と柚子と温泉のまちづくり」をキャッチフレーズに地域振興に取り組んでいる。町内には、県指定文化財・天然記念物に指定されている「金谷城山桜」がシンボルとしてあり、現在「美都町桜の会」(町内外会員総数 160 名)を中心として、桜の苗木の植栽と桜愛護の活動に取り組んでいる。

特に、「美都町を桜の町として有名にしよう」と昭和 63 年から始めた「1 万本桜植栽運動」は、平成 7 年には 1 万本を超え、その後も毎年植栽しており、桜の咲く季節になれば、町内各地で一斉に開花し、町民を始め、この町を訪れる人々の心を和ませている。





高知県佐川町

市区町村の概要

高知県のほぼ中央部、高知市の西方 27km に位置する人口約 15,000 人、5,500 世帯の町。高吾北地域の交通、通信、文化、経済の中核として位置づけられている。

さくらの概要

牧野公園の桜は、明治 35 年、牧野富太郎博士が東京染井で発見した桜の種ソメイヨシノを送ってこられ、それを地元の有志が植えたことに始まる。大正 4 年、町が 1,300 本のソメイヨシノの苗木を購入し、町内の道路沿いや各地区に植えたことで、名所「桜の佐川」として有名になり、その中心が奥の土居（牧野公園）であった。戦時中は、食料増産ということで畑に開墾されたが、昭和 24 年、町、商工会等により桜やつつじなどが植えられ再び花見処となった。牧野公園は、平成 7・8 年度で、売店棟、便所、駐車場、植栽等の工事を行い、四季を通じて利用できる憩いの場として整備をした。約 2,000 本の桜は、古い街並みとあいまって、情緒あふれる花見ができ、県下一の花見処である。



長崎県大村市

市区町村の概要

長崎県の中央部に位置し、東西 14km、南北 16km、総面積 126.33 km² を有する人口 86,215 人、32,707 世帯の市。

大村藩千年余の歴史の中で城下町として栄え、日本初のキリシタン大名となり、天正遣欧少年使節の派遣などの業績を残した大村純忠や、明治維新の偉業達成に重要な役割を演じた藩士を数多く輩出するなど「歴史のまち」である。

今日では、世界初の海上空港である長崎空港を有し、オフィスパーク大村、大村ハイテクパークの整備により、全国で最も起業しやすいまちとして注目を集めている。

さくらの概要

長崎県随一の桜の名所として有名な大村公園は、大村藩主の居城であった玖島城跡で、約 21ha の広さを誇り、桜のほかつつじ、花菖蒲、アジサイと花の期間が長く続き、3 月 25 日から 6 月 20 日まで花まつりで賑わいを見せる。

桜の数は、ソメイヨシノ 1,500 本、オオムラザクラ 300 本、八重桜 200 本とあわせて 2,000 本。

中でも、国指定の天然記念物であるオオムラザクラは、八重桜の二段咲きで花卉の総数が 60～200 枚もある優雅な花で、里桜中の名花と言われている。





熊本県水上村

市区町村の概要

熊本県東南部、宮崎県との県境に位置し、総面積 192.11km² のうち、92% が森林に囲まれた人口約 2,700 人、900 世帯の村。日本三大急流のひとつ、「球磨川」の源がある自然豊かな村。

さくらの概要

昭和 35 年、村の中央部に洪水調節を主目的とした多目的ダム「市房ダム」が完成し、修景事業の一環として昭和 37 年に付け替え道路となったダム湖周辺 14km に一万本の桜が植栽された。その後、昭和 59 年に始まった「くまもと日本一づくり運動」のなかで、当時の県知事であった細川護熙氏の提唱により、市房ダム湖周辺で育まれた一万本の桜を核にした「日本一の桜の里づくり」が始まった。現在、住民総参加の桜の下草刈、空き缶・ゴミ拾い等、住民一人一人の手で育てられている。また、平成 9 年度より樹木医の指導を仰ぎ、土壌改良、間伐等、年間約一千万円の経費を費やし、桜活性化対策事業に取り組んでおり、開始後二年目の後半より、新芽の徒長、花の付きなど目に見えて効果が現れており、今後も継続して行なう予定でいる。

なお、桜図鑑園には、約 80 種類の桜の木が植栽されており、観光面での整備がなされている。



宮崎県北郷町

市区町村の概要

さくらのまち日本一を目指し、昭和 56 年から桜の植栽運動を展開している。温暖な気候と人情豊かな、人口約 5,300 人、1,900 世帯の緑と清流と温泉の町。

さくらの概要

370 年の歴史を誇る飫肥杉のまちで、この豊かな杉林の緑の中に、色鮮やかに春の訪れを知らせてくれる山桜が数多く生息しているところである。植栽は、自治公民館や各種民主団体、誘致企業等の協力のもと、公共施設周辺や沿道など約 18,000 本程度の植栽を完了している。また、当町は宮崎日南海岸リゾート開発の保護・歴史リゾートゾーンに位置づけられ、静かな高原にリゾートホテル、ゴルフ場が整備されているほか、周辺には緑豊かな自然を生かしたレクリエーション施設や公園を数多く有している。特に高原にはリゾート施設の整備とともに、桜のまちづくりの拠点として 10,000 本の桜が植栽され、平成 11 年度から遊歩道やトイレ、広場の整備のほか、四季を通じた草花の植栽を行い、さくらまつりを開催するなど楽しめる「さくら公園」としての整備が進められている。





茨城県日立市

市区町村の概要

水戸藩第 2 代藩主徳川光圀公が、「朝日の立ち昇る光景は領内一」と讃えた故事から「日立」になったといわれる。太平洋と阿武隈山地に囲まれた自然豊かなまちである。

近代産業の起こりは、小坂銅山（秋田県）を再興した久原房之助^{くばらふさのすけ}が、細々と操業していた赤沢銅山を明治 38 年に買収、日立鉱山と改称して電力による近代採鉱技術を採用し本格的な銅鉱山の採掘・精錬を始めたことによる。大正初期には、精錬に伴い発生する亜硫酸ガスが周辺の村々に多大な被害をもたらしたが、高さ世界一（当時）の大煙突を建設してこれを克服した。その後、鉱山は鉱石枯渇により、昭和 56 年に幕を閉じた。

一方、鉱山の工作係としてモーター修理を始めた小平浪平^{おだいらなみへい}は、自主技術によって国産モーターを開発、明治 43 年に日立製作所を創立して、大正 9 年鉱山から独立した。戦時中には軍需工場に指定され、昭和 20 年の空襲では壊滅的な被害を受けたが、戦後の高度成長期に事業を拡大し、世界的な企業へと成長を遂げている。

わが国を代表する企業城下町であるが、特色としては市民運動が盛んなまちである。福祉事業や生涯学習、地域のコミュニティからさくらのまちづくりまで、多くの団体が幅広い活動を展開している。

現在、「創造とふれあいの都市・日立」を目指し、県北部の中核都市として機能強化を図るため、各種事業の展開を進めている。人口 193,282 人、世帯数 73,093。

さくらの概要

大正の初め、銅の精錬に伴って発生した煙害で荒廃した山々に、日立鉱山がオオシマザクラなどの煙害に強い苗木を大量生産して植林したのが始まりとされる。一説には、約 260 万本の桜苗を植えたといわれる。鉱山は桜苗の栽培技術を応用し、ソメイヨシノを社宅や工場などの周りに植栽してきた。昭和初期には、鉱山による桜の植栽と咲き誇る花々の素晴らしさを讃え、日立製作所の役員が「桜塚」を建立して贈る、という美談も現在に語り継がれている。

一方、市は昭和 20 年の戦災により焦土と化した市街地の復興を図るとともに、市民の安らぎの場として、昭和 20 年代後半「平和通り」や「かみね公園」にソメイヨシノなどの桜を数多く植栽した。この桜は平成 2 年「日本のさくら名所 100 選」に選ばれた。

毎年、桜の季節には市の内外から 50 万人近い観光客を集めて「日立さくらまつり」が開催され、会場の一つである平和通りでは、国指定重要有形・無形民俗文化財の「日立風流物」公開などの多様なイベントにより賑わいを見せている。開花時期の夜間は桜のライトアップによって、幽玄な世界をかもし出している。





日立市制施行 60 周年記念「なんでもさくら展」より

「私とさくらの思い出」発表文

「わたしとさくらの思い出」

滑川小学校 5 年 荻田千尋

春になると、家の庭の花だんをはじめ、学校に行くまでの道ばたなどのいろいろな場所に、いろいろな花がたくさんさきみだれます。その花たちは、どの花も元気にきれいにさいています。その中でも、太陽に一番近くさいている「さくら」が、わたしは一番きれいで大好きです。平和通りのさくらは、日立駅から国道 6 号まで道ぞいにうえられ、まん開のころの夜は、ライトにてらされて、さらにきれいにわたしたちの目を楽しませてくれます。かみね公園のさくらは、動物たち、のり物たちといっしょになって、ゆかいにさきみだれています。

なめ川小学校のさくらは、わたしが二年前の春、入学した時に「おめでとう」と言ってくれているように、さくらの花びらを空からふらせてくれました。そのさくらは、毎年春になると、わたしの心をおだやかにしてくれます。春がすぎて夏になると、さくらは、葉だけしかのこっていないけど、その葉は緑色でとてもあざやかにしげっています。秋になると、わたしたちの大好きな運動会です。お弁当の時間には、さくらの木の下の日かげで、すずしく、おいしくお弁当を食べることができます。その様子をにこにこ上から見ているようです。そして、さくらの葉は、緑色から黄緑色や黄色やだいたい色と色をかえて「もうすぐ冬だよ」と、教えてくれているようです。それから、だんだん葉が落ちていってしまいます。その冬がくると、わたしたちはあたたかいコートや手ぶくろやマフラーをして体を寒さから守ります。でも、さくらは花も葉も落ちてしまい、とても寒そうです。そんなきびしい寒い冬にも負けずに、しっかり大地に根をはって、どうとうと寒さに立ち向かっているさくらを見ると、「がんばって、春にはきれいな花をさかせてね」「わたしもつらいこと悲しいことがあっても、きみのようにがんばるよ」とさくらから教えられたような気がします。来年の春が、早く来るといいなあ。

「ぼくと 4 代ざくらはともだち」

助川小学校 6 年 直井雄一郎

ぼくは、4 年前、助川小学校に入学して、いちばんさいしょに目にしたのが校庭にある大きなさくらでした。行きも帰りもきになっていました。家に帰ってお父さんに聞いてみると「あの大きなさくらは 4 代ざくらって言って、明治・大しょう・昭和・平成って生きてきたんだ。お父さんのちいさいときは 3 代ざくらっていったんだよ。」とおしえてくれました。つぎのひ学校に行ってみると、きのうよりさくらの花がさいていてとてもきれいでした。じゅぎょう中 4 代ざくらがこっちをむいてみまもっているようなかんじがしました。夏は青い葉がにらんでいるように見えて、秋は、きいろい葉がちょっと休けいしているように見えて、冬は、もうつかれてねているように見えました。それを 4 年のみんなが見てきました。今おもうと、さくらのおじいさんだともおもいます。3 年のときは、さくらの下でドッジボールをしました。ぼくが大人になったころには 5 代ざくらになっているのかなとおもいます。いまでやく 126 才でぼくが大人になったら何才になっているだろうかと楽しみです。ぼくとさくらの木、花はなかのいい友だちです。



「私とさくらの思い出」

久慈町 石津真紀

平成 11 年、春、4 月 2 日。私は 2 週間入院後、晴れて帝王切開で待望の第二子、女の子を出産、1828 グラムの小さな子を生ましました。嬉しい反面、体に異常はないか五体満足に生まれたのか心配でした。出産 5 日後にして初めて娘と対面、そこには、保育器に入り鼻にはチューブを入れ、手には点滴、胸には心電図が取り付けられ痛々しい姿の娘がいました。動揺している私に主治医の先生は、「小さいけれど、今のところ何の異常もなく成績いいですよ。心配しないで大丈夫。」と、勇気付けてくれました。私が今、この子にしてあげれることは母乳をあげる事しかない。と思い、それから、3 時間おきの搾乳を続け、10cc しか飲めない娘へと運びました。

傷の痛みや娘の事、夜中の搾乳、気持ちは暗くなっていました。周りのお母さん達は、喜び一杯、赤ちゃんにおっぱいを銜えさせ、語りかけている様子を横目で見、私も早く、わが娘をこの手で抱き上げ、お乳を飲ませてあげたいと思いながら、ふと、窓の外を見下ろすと、そこには、桜の花が満開に咲いていました。桜の花を綺麗だと感じ、3 週間振りに見る外の景色は新鮮で、窓を開けて外の空気を体中に吸い込んだら、不思議と今まで張り詰めていた気持ちが和らいでいき、一日も早く娘と家へ帰りたいと願いました。

その頃、主人が娘の名前を決めてきました。名前は「桜」。想像もしていなかったので少し戸惑いました。でも、時期的にもいいし、名前も可愛い、そして何より、私自身が桜の花に魅せられ、勇気付けられたのを思い出し、この子も、綺麗で女らしく、人の心を和ませられるような素敵な子になってほしいと願い、おもいきって「桜」と命名しました。

その後、私は一足先に退院。桜のいる病院へと母乳を冷凍し運ぶ日々が続きました。その甲斐もあり、桜の体重は日に日に増え、2475 グラムとなり、退院の日を迎えることが出来ました。長かった入院生活、落ちこんでいる私を励ましてくれた主治医に看護婦さん達、気持ちや考え方まで変えてくれたあの桜。今、無事に退院となる桜を抱え感謝の気持ち一杯で、お世話になった病院を後にしました。外はもう、桜の花も散り、木々に青々と葉が繁っていました。来年は、少し大きくなった桜と共に家族みんな、桜の花を見ることでしょう。

桜、桜、ありがとう。



「私とさくらの思い出」

田尻町 安藤孝吉

私の 63 年の人生の中で、節目、節目の思い出を刻み込んださくらの木が、市内にはたくさん残っている。

私が小学生の頃、友達に誘われて多賀町の桜川の堤で（旧多賀工場汽車門前）さくらの木に登り、唇を紫色にして、甘い小さな実を食べた思いがあるが、そのさくらは今も健在である。

学校を卒業すると、その桜川の北側にある日立製作所国分工場に入社した。4 月上旬の「日立さくらまつり」には、課内で花見会が計画され初めて先輩たちにかみね公園へ連れていかれた。さくら満開の丘陵地から市街地をみおろし、太平洋を一望に収めたとき、その絶景に息を呑んだ。寒さに震えながら飲めない冷酒に悪酔いして、苦しんでいる私の姿を見ていたさくらも、今は一回り大きくなって残っている。

昭和 45 年に、横浜市戸塚区の日立製作所戸塚工場へ 1 年 3 ヶ月出向したときのことである。工場の東側を流れる柏尾川の堤防上にさくら並木がつづいており、花見の名所になっていた。さくらが満開になる 4 月上旬には、花見客で大いににぎわうが、私も課会の花見会に招待され参加した。戸塚工場のなかには、日立工場から転勤された人がたくさんいる。その転勤組の N さんが、私にほろ酔い気分で、「花見の時期になると、会瀬グランドのさくらを懐かしく思い出して、ふる里をしのんでいますよ・・・」と、語られた一言が強く印象に残った。それからは、会瀬グランドのさくらを見るたびに、N さんが思い出された。

昭和 62 年に娘は結婚した。新居は、相手が日立製作所に勤めていたために石内社宅となった。日立市の市の花が、さくらとうたわれているように市内にはさくらの名所が多いが、この石内のさくらもすばらしい。娘の部屋から眺めたさくらの花びらが風に舞い散る様子は、まさにさくら吹雪であり、その風情は忘れがたいものがあった。その後、娘夫婦には子供も生まれ家を新築して石内社宅を離れた。

会社を定年退職後は、時間に余裕もできたのでさくらが満開の夜には孫と一緒に、かみね公園から平和通りを散策しさを堪能することにしている。特に、ライトアップされたさくら並木、艶やかな花のトンネルは圧巻だ。毎年、きまった場所、同じさくらの木の前で孫の記念撮影をする。古いアルバムをめくるとさくらの木は変わっておらずに孫ばかりがどんどん成長している。

さくらがまちを彩る 4 月には、かみね公園や平和通りが会場で「日立さくらまつり」でにぎわう。私は、その観客の 1 人として、日立に住んでいることが誇らしい気持ちになる。

さくらの木の手入れや保存に力を尽くしている方々に、心からお礼申し上げたい。



第 13 回さくらサミット IN ひたち関連イベント

イベント名称	期間	会場
第 40 回日立さくらまつり	4/1 ~ 22	平和通り・かみね公園
第 1 回日立さくらロードレース	4/8	日立新都市広場スタート
特別展示 日立風物流の世界	3/6 ~ 4/15	日立市郷土博物館
女流作家による The デザインさくら展	3/28 ~ 4/8	日立シビックセンター1 階ギャラリー
咲くらんアート「さくら」展	4/1 ~ 8	パティオモール
全国さくらまつりポスター展	4/1 ~ 22	常陽銀行日立支店
第 5 回さくらサミット大賞押花絵コンクール	4/5 ~ 8	日立シビックセンター1 階アトリウム
助川海防城 入城武者行列	4/7	銀座通り→平和通り（周回）
ひたちぎんざナイトバザール	4/7	ぎんざもーる・まいもーる
日立さくら名所めぐりバスツアー	4/7・8	日立市内さくらの名所
登録文化財「共楽館」資料展示会	4/7・8	共楽館
日本のさくら名所 100 選 + 別選 50 vs 日立のさくら写真展	4/7 ~ 15	日立市教育プラザ 2 階ギャラリー
美容さくらまつり	4/8	日立市民会館
NHK のど自慢（生放送）	4/22	日立市民会館大ホール
記念オレンジカード発売	3/1 ~	JR 日立駅ほか 発行 2000 枚
さくらサミット開催記念出版 新田次郎著「ある町の高い煙突」	3/21 ~	日立市観光協会（観光課内） 限定 2000 部販売
「日立のさくら」絵はがき	発売中	日立さくらのまちづくり市民会議事務局（観光課内）
「日立のさくら」ガイドマップ	配布中	
日立さくらまつりフォトコンテスト作品募集	申込み 5/9 まで	日立さくらまつり実行委員会事務局 （観光課内）



This image shows a full page of white paper with horizontal black lines, resembling notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.



25



第 13 回さくらサミット in 日立

「桜と語るさくらの未来」～元気さくらとネットワーク～

プログラム

発行日：平成 13 年 4 月 7 日

発 行：第 13 回さくらサミット IN ひたち実行委員会

日立市産業経済部観光課

〒317-8601

茨城県日立市助川町 1-1-1 0294-22-3111（代表）

